

市長賞を受賞した古田さんにインタビューしました！

今年は加茂小学校5年生 古田康貴さんの「地震と高石市の防災について」が市長賞に選ばれました。昨年の「犬は大切な家族～ぼくの犬はどこからきたの？～」に引き続き、2年連続の市長賞受賞となりました。



今回のテーマを選んだ理由について

お正月に家族みんなでテレビを見ていた時、能登半島での地震の報道が入ったので、家族で地震の話になり、地震の恐ろしさを感じたことがきっかけで、調べてみることにしたそうです。

取り組み方のコツは何ですか？

日頃から本やテレビを見て、調べたいと思ったことをノートなどに書いているそうです。今回もお正月の地震の後、同じように調べたいことをあげていき、6月頃から2～3ヶ月かけて作品を仕上げたとのこと。日ごろから興味のあることをまとめているんですね～すごい！

調べてみて楽しかったこと、苦労したこと

自分も震度7の体験をしてみたいと考え、調べてみつけた「あべの防災センター」の設備で体験できたことが楽しかったと話してくれました。

高石市役所にも行き、話を聞いてよかったとのこと。また、昨年同様、全部大変だったけど、特に実際にまとめて書くことが一番苦労したそうです。

おすすめの本は？

『巨大地震のサバイバル』（朝日新聞出版）がわかりやすく、おすすめとのこと。

サバイバルシリーズがきっかけで読書をするようになったとおうちのひとが話してくれました。

今後は？

薬について調べたいそうで、理由を聞くと「よく風邪をひくから」と教えてくれました。

インタビューに答えて
くれた古田康貴さん▶

